



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月7日

上場会社名 藤倉コンポジット株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5121 URL https://www.fujikuracomposites.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員(氏名) 森田 健司
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員(氏名) 高橋 秀剛 (TEL) 03-5747-9444
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	29,194	△0.5	3,423	6.6	3,635	7.5	2,924	△0.5
2024年3月期第3四半期	29,338	△6.6	3,211	△13.5	3,381	△22.7	2,938	△9.0

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 3,387百万円(△15.1%) 2024年3月期第3四半期 3,989百万円(△13.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	147.95	—
2024年3月期第3四半期	126.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	45,172	32,844	72.7
2024年3月期	44,075	36,499	82.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 32,844百万円 2024年3月期 36,499百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2025年3月期	—	32.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	32.00	64.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	5.9	4,600	26.9	4,700	20.6	3,800	16.9	189.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	23,446,209株	2024年3月期	23,446,209株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	4,289,844株	2024年3月期	293,836株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	19,764,845株	2024年3月期3Q	23,152,383株

(注) 1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数及び1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎となる普通株式の期中平均株式数については、株式付与ESOP信託の信託財産として、日本マスタートラスト信託銀行(信託口)が所有している当社株式を、控除対象の自己株式に含めて算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(収益認識関係)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、ロシアによるウクライナ侵攻、中東の戦火などの地政学リスクが、依然として世界的なサプライチェーンの脅威となっております。わが国経済においては、インバウンドは好調を継続し、サプライチェーンは正常化しておりますが、人手不足や賃上げへの対応等、企業を取り巻く環境は依然厳しいものとなっております。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は291億9千4百万円（前年同四半期比0.5%減）、営業利益は34億2千3百万円（前年同四半期比6.6%増）、経常利益は36億3千5百万円（前年同四半期比7.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は29億2千4百万円（前年同四半期比0.5%減）となりました。なお、特別利益に投資有価証券売却益等として3億5千3百万円を計上しております。また、前第3四半期連結累計期間においては、自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金等5億9千2百万円を特別利益に計上しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<産業用資材>

工業用品部門は、自動車関連部品及び住宅設備関連の受注回復が進み増収となりましたが、米国での受注低迷、国内の製造コスト等の上昇に対し価格転嫁が追いつかず営業損失となりました。制御機器部門は、半導体市場において続いていた流通在庫調整が進み、AI関連を中心としたメモリー半導体への設備投資の回復により、国内・海外向け共に堅調に推移しました。また液晶市場も設備投資減速の影響を受けておりましたが、海外向け設備投資の増加により、回復傾向となりました。医療市場は在庫調整及び製品立上げ遅れが続き、全体では増収減益となりました。

この結果、売上高は170億8千2百万円（前年同四半期比2.5%増）、営業利益は1億3千1百万円（前年同四半期比38.7%減）となりました。

<引布加工品>

引布部門は、電気・電子分野向けの部材や一般ゴム引布の受注が好調に推移しましたが、製造コスト等の増加により増収減益となりました。加工品部門は、防衛関連製品の受注は増加しましたが、舶用品の売上は減少し、営業損失となりました。印刷材料部門は、2024年3月期をもって事業撤退いたしました。

この結果、売上高は21億3千3百万円（前年同四半期比44.4%減）、営業損失は1億8百万円（前年同期は9千8百万円の利益）となりました。

<スポーツ用品>

ゴルフ用カーボンシャフト部門は、米国および国内男子プロで使用率No.1の『VENTUS』、国内女子プロで使用率No.1を誇る『SPEEDER NX VIOLET』等の主力モデルがグローバルで好調を継続し、増収増益となりました。2024年11月に新商品の『24 VENTUS BLACK/RED』をグローバルで発売し、シリーズ展開を強化しました。また2024年9月に原町工場から小高工場への製造ライン等の移転を完了し、稼働を開始しました。自動化や付加価値製品の生産強化に注力してまいります。アウトドア用品部門は、市場在庫過多により主力シューズ及び冬物商材の販売が伸び悩み、引き続きの円安の影響による仕入れ価格高騰により減収減益となりました。

この結果、売上高は97億1千7百万円（前年同四半期比13.3%増）、営業利益は39億5千6百万円（前年同四半期比18.9%増）となりました。

<その他>

運送部門は、荷動きにわずかながら減少が見られ、自社便の稼働率向上に努めましたが減収減益となりました。

この結果、売上高は3億3千9百万円（前年同四半期比1.0%減）、営業利益は2千7百万円（前年同四半期比6.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は前連結会計年度末に比べ10億9千6百万円増加の451億7千2百万円となりました。現金及び預金が減少したことなどにより流動資産は4億2千5百万円減少しましたが、小高工場の再稼働に向けた整備が進んだことで建物及び建設仮勘定等が増加したことに伴い、固定資産が15億2千2百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は前連結会計年度末に比べ47億5千万円増加の123億2千7百万円となりました。短期借入金の増加などにより流動負債が10億2千4百万円増加し、長期借入金の増加などにより固定負債が37億2千6百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末に比べ36億5千4百万円減少の328億4千4百万円となりました。自己株式の取得により自己株式が増加したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の82.8%から72.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年11月8日の「2025年3月期第2四半期（中間期）決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,228,991	9,222,317
受取手形及び売掛金	10,166,876	10,033,009
商品及び製品	3,957,106	4,023,912
仕掛品	2,675,597	3,442,498
原材料及び貯蔵品	911,766	816,204
その他	624,374	582,759
貸倒引当金	△49,292	△31,083
流動資産合計	28,515,419	28,089,618
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,382,023	4,732,783
機械装置及び運搬具（純額）	2,786,417	2,909,018
土地	3,059,728	3,060,137
建設仮勘定	879,826	1,376,395
その他（純額）	844,277	1,024,289
有形固定資産合計	11,952,273	13,102,625
無形固定資産		
ソフトウェア	90,652	194,433
その他	80,728	72,565
無形固定資産合計	171,380	266,999
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	672,026	689,127
その他	4,309,815	4,605,151
貸倒引当金	△1,545,030	△1,580,794
投資その他の資産合計	3,436,810	3,713,485
固定資産合計	15,560,464	17,083,110
資産合計	44,075,883	45,172,729

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,320,510	2,545,825
短期借入金	—	800,000
未払法人税等	8,191	295,554
賞与引当金	548,099	193,755
事業撤退損失引当金	166,262	15,234
資産除去債務	60,000	60,000
その他	2,279,489	2,496,597
流動負債合計	5,382,553	6,406,967
固定負債		
長期借入金	—	3,200,000
繰延税金負債	716,775	913,870
環境対策引当金	9,734	9,283
株式給付引当金	—	149,032
退職給付に係る負債	765,917	764,765
資産除去債務	207,878	401,562
その他	493,964	482,299
固定負債合計	2,194,270	5,920,813
負債合計	7,576,824	12,327,781
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,804,298	3,804,298
資本剰余金	3,455,379	3,455,379
利益剰余金	26,487,403	27,968,681
自己株式	△413,427	△6,011,811
株主資本合計	33,333,654	29,216,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	741,242	949,777
為替換算調整勘定	2,093,327	2,360,524
退職給付に係る調整累計額	330,835	318,097
その他の包括利益累計額合計	3,165,404	3,628,400
純資産合計	36,499,059	32,844,948
負債純資産合計	44,075,883	45,172,729

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	29,338,294	29,194,402
売上原価	20,637,936	19,892,879
売上総利益	8,700,358	9,301,522
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	459,516	427,059
給料及び手当	1,886,010	1,942,761
賞与引当金繰入額	34,606	32,683
退職給付費用	54,704	74,627
減価償却費	114,914	152,011
研究開発費	342,622	377,113
その他	2,596,811	2,871,809
販売費及び一般管理費合計	5,489,185	5,878,067
営業利益	3,211,172	3,423,455
営業外収益		
受取利息	44,110	55,729
受取配当金	54,978	160,757
為替差益	8,459	18,214
受取賃貸料	42,908	10,130
その他	70,121	92,829
営業外収益合計	220,577	337,661
営業外費用		
支払利息	1,483	25,974
シンジケートローン手数料	—	70,166
賃貸収入原価	33,519	1,593
その他	15,415	27,604
営業外費用合計	50,417	125,338
経常利益	3,381,332	3,635,778
特別利益		
投資有価証券売却益	—	279,164
事業撤退損失引当金戻入額	—	52,101
補助金収入	592,129	22,001
特別利益合計	592,129	353,266
特別損失		
固定資産廃棄損	—	39,206
特別損失合計	—	39,206
税金等調整前四半期純利益	3,973,462	3,949,838
法人税、住民税及び事業税	902,107	920,673
法人税等調整額	132,703	104,992
法人税等合計	1,034,810	1,025,665
四半期純利益	2,938,651	2,924,172
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,938,651	2,924,172
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	140,763	208,535
為替換算調整勘定	901,015	267,197
退職給付に係る調整額	8,897	△12,737
その他の包括利益合計	1,050,676	462,995
四半期包括利益	3,989,328	3,387,168
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,989,328	3,387,168

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年5月10日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得すること及びその具体的な取得方法について決議し、2024年5月13日に東京証券取引所における自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により自己株式4,000,000株の取得を行いました。この結果、単元未満株式の買取による増加及び従業員インセンティブ・プラン「株式付与ESOP信託制度」を通じて従業員に対して自己株式を交付したことによる減少も含め、当第3四半期連結累計期間において自己株式が5,598,384千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が6,011,811千円となっております。

(追加情報)

従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引

当社は、従業員への福利厚生制度の拡充と当社の中長期的な企業価値を高めることを目的として、従業員インセンティブ・プラン「株式付与ESOP信託制度」を、2024年2月に導入しております。

(1) 取引の概要

当社は、予め定めた株式交付規定に基づき、一定の要件を充足する従業員にポイントを付与し、当該付与ポイントに相当する当社株式を交付します。従業員に交付する株式については、当社が予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理するものとします。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末において413,427千円、293,836株であり、当第3四半期連結会計期間末において407,759千円、289,808株であります。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注)2
	産業用資材	引布加工品	スポーツ 用品	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	16,663,525	3,837,362	8,574,766	262,640	29,338,294	—	29,338,294
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	80,756	80,756	△80,756	—
計	16,663,525	3,837,362	8,574,766	343,397	29,419,051	△80,756	29,338,294
セグメント利益	215,062	98,384	3,327,367	29,141	3,669,956	△458,783	3,211,172

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去414千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△459,197千円が含まれています。全社費用は、主に当社の総務部門、人事部門、経理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 2
	産業用資材	引布加工品	スポーツ 用品	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	17,082,071	2,133,919	9,717,661	260,748	29,194,402	—	29,194,402
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	79,205	79,205	△79,205	—
計	17,082,071	2,133,919	9,717,661	339,954	29,273,607	△79,205	29,194,402
セグメント利益又は損 失(△)	131,854	△108,749	3,956,339	27,124	4,006,568	△583,113	3,423,455

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去414千円及び各報告セグメントに配分して
いない全社費用△583,527千円が含まれています。全社費用は、主に当社の総務部門、人事部門、経理部門に
かかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半
期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりでありま
す。

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,087,518	1,062,796

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	産業用資材	引布加工品	スポーツ 用品	その他	
日本	9,527,251	2,430,566	4,158,257	262,640	16,378,716
米国	1,368,804	245,208	3,764,433	—	5,378,447
中国	3,255,795	130,734	16,096	—	3,402,626
その他	2,511,673	1,030,852	635,978	—	4,178,503
顧客との契約から生じる収益	16,663,525	3,837,362	8,574,766	262,640	29,338,294
外部顧客への売上高	16,663,525	3,837,362	8,574,766	262,640	29,338,294

当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	産業用資材	引布加工品	スポーツ用品	その他	
日本	9,885,379	1,525,444	4,154,984	260,748	15,826,557
米国	1,415,671	9,243	4,829,563	—	6,254,478
中国	3,197,266	35,936	18,154	—	3,251,357
その他	2,583,753	563,295	714,958	—	3,862,007
顧客との契約から生じる収益	17,082,071	2,133,919	9,717,661	260,748	29,194,402
外部顧客への売上高	17,082,071	2,133,919	9,717,661	260,748	29,194,402

(重要な後発事象)

当社の製造販売する膨張式救命いかだの投下試験において不具合事象が確認されました。このため、対応策を検討した結果、部品または一部製品の無償交換を実施することを決定いたしました。

なお、本件に伴う業績に与える影響は現在精査中であります。開示すべき事象が発生した場合は、速やかにお知らせいたします。

以上